

近年、非乳頭部十二指腸腺腫・癌は胃型形質主体の腺癌のほう腸型形質主体の腺癌と比較して高い悪性度を有している可能性が示唆されるなど、粘液形質に基づく分類の重要性が明らかにされつつある。拡大内視鏡観察は両者の鑑別や腸型形質における低異型度腺腫と高異型度腺腫・癌の鑑別診断に有用との報告がある。また、十二指腸の内視鏡所見として特徴的な白色化ないし白色絨毛を呈する局在病変やびまん性炎症性病変の診断にも拡大内視鏡観察の有用性が示唆されている。

本号は「十二指腸拡大内視鏡の最新知見」をテーマとし、腫瘍様病変と腺腫・腺癌および白色化ないし白色絨毛を伴う病変に対する拡大内視鏡所見についての論文を収載した。非乳頭部十二指腸における拡大内視鏡診断の最新知見を一冊にまとめることを目指した。

まず、序説の小山論文では、十二指腸病変診断の変遷を踏まえ、今内視鏡医が何をすべきかについて考察され、内視鏡画像と組織像の対比の重要性について改めて論述された。ぜひ、一読の上、主題へと読み進めたい。

主題の八尾隆史論文では腺腫・癌と腫瘍様病変の病理組織学的特徴に関する知見がまとめられた。八尾建史論文では拡大内視鏡で観察される正常十二指腸の表面微細構造と微小血管構築像が示され、その成り立ちを病理組織学的所見と解剖学的所見に基づき概説された。十二指腸は胃や大腸と異なり管腔表層が絨毛上皮に被蓋されていること、乳頭よりも近位側の下行部と球部には異所性胃型上皮に被蓋される病変が少なくないことから内視鏡診断には組織構築の理解が重要となる。これらの2論文を熟読し、以下の拡大内視鏡診断の各論へと進みたい。

江頭論文では内視鏡的切除により確診した腫瘍様病変の拡大内視鏡所見が解析された。特に異所性胃型上皮を伴う腫瘍様病変である異所性胃粘膜、胃腺窩上皮型過形成性ポリープとBrunner腺過形成は、生検のみでは確診に至らないことも少なくないことから、切除例での検討は重要かつ貴重と考えられる。熟読したい。

続いて、非乳頭部十二指腸腺腫・癌の拡大内視鏡診断に関して、この分野をリードする計4施設に「自施設の考え方」を、腸型形質と胃型形質の分類に基づいて論述いただいた。まず、中山論文では、自験163例に基づいて腺腫と癌の内視鏡鑑別診断について検討した結果、癌と診断しうる病変は、表面構造closed loop structureを呈する、WOS陰性で

ある傾向にあったとした。多数例を解析中とのことで続報が期待される。郷田論文では胃型形質13病変と腸型形質38病変が比較対比され、内視鏡所見では腸型でmilk-white mucosaを、NBI拡大観察では胃型でenlarged mucosal patternを高率に認めることが示された。H. pylori感染群において胃型が明らかに多い傾向がみられた点が興味深い。赤澤論文では胃型腫瘍19例と腸型腫瘍73例の臨床的・内視鏡的特徴について比較検討し、胃型腫瘍は0-I様病変が多く、NBI併用拡大観察では卵円形の腺窩辺縁上皮、dense pattern、窩間部の開大が特徴的であったとしている。鳥谷論文では、胃型16例、胃腸混合型34例、腸型59例において、白色光スコアリングシステムとクリスタルバイオレット染色拡大観察アルゴリズムの組み合わせの有用性が示され、胃型腫瘍にみられるPinecone patternについて言及された。特に胃型形質の腺腫・癌の更なる集積に基づく続報を各施設に期待したい。

池上論文では十二指腸の白色化/WOSを伴う局在病変として腺腫・癌(胃型形質と腸型形質)、濾胞性リンパ腫、リンパ管腫を、白色絨毛を呈するびまん性疾患としてランタン関連腸症、Whipple病、アミロイドーシスを取り上げ、拡大内視鏡所見と病理組織が対比・検討された。病態の理解や内視鏡的鑑別診断の確立に寄与しうる論文である。熟読をお願いしたい。

ノートの濱本論文では非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する超拡大内視鏡診断(endocytoscopy)の有用性について術前生検診断が行われた30例において検討され正診率は89.6%と報告された。特に平坦な形態を呈し術前生検が問題となる腸型形質の腺腫・癌の診断に有用な可能性がある。続報を期待したい。

主題症例の足立論文「急速に発育した十二指腸球部胃型進行癌の1例」は、経時的に示されたその発育スピードに圧倒される症例報告で、胃型形質の腫瘍の早期診断の重要性が示唆された。高橋論文は陥凹型を呈した異所性胃粘膜切除例において拡大内視鏡像と病理像が詳細に対比された。白濁部が小腸上皮化生による点として極めて興味深い。金城論文ではセリアック病症例の精緻な拡大内視鏡所見と病理組織所見の対比が提示された。絨毛萎縮像を目に焼き付けたい。

本特集号が十二指腸内視鏡診断の最新知見が集められた一冊として消化管専門医に役立てば幸いである。